

特集！！ハルちゃんが行く！！

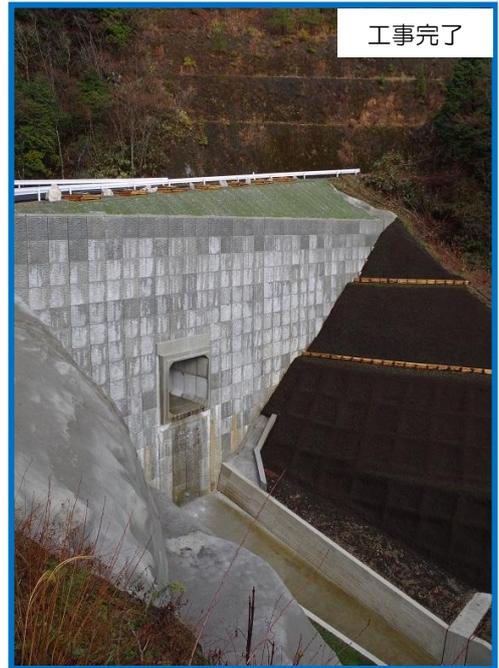
～森林土木工事編～

今回は、県産材を使い、環境に配慮した津野町と栲原町の森林土木工事の現場をご紹介します。



<天狗高原へ向かう道・東津野城川線>

下の写真は津野町にある大規模林道の災害復旧工事の現場です。平成 26 年夏の台風 11 号で崩れ、天狗高原へ繋がる主要道が通行できなくなりました。同林道は林業の他、天狗高原の観光の基幹となる道路であり、通行止めにより林業・観光産業に大きな影響が出ました。復旧工事は平成 26 年 12 月に着工し、約 10 か月の工期を経て今年 10 月に完成しました。復旧工事では盛土の緑化に木柵を使うとともに、種子とバークを混ぜた植生基材を吹き付けることで早く緑化する工夫をしています。



<栲原町飯母 復旧工事現場>

次は栲原町の飯母地区の山腹工事の現場です。平成 23 年に大規模な山崩れが発生し、翌年から復旧工事が行われ、平成 27 年に全体の工事が完了しました。工事完了後の写真の左下に写っている白い棒のようなものは、植栽したクヌギの苗をシカによる食害から守るためのチューブ状のカバーです。茶色く見える部分は丸太を使って景観に配慮したのり面保護工を施しています。また、格子状のモルタルの間にも植生基材を吹き付け、早く緑化するようにしています。



< 所長表彰！橋原町横貝の治山ダム >

最後は橋原町の横貝地区の治山工事の現場です。この場所は元々は小さな溪流でしたが、土砂の崩落が確認されたため治山ダムが造られました。治山ダムの見栄えの良い仕上がりに加え、地域の生活に支障が無いよう工事中は仮設道路を設置したり、低騒音タイプの重機を用いるなど地域の生活環境に配慮した取組が高く評価され、今年度の須崎林業事務所長賞を受賞することになりました。

